

令和7年度 事務事業評価表 (令和6年度実績)

事務事業名		水質検査事業			担当所属	上下水道局水質管理課		
基本情報	分野	7 生活基盤		事業期間	～			
	基本施策	4 水道の安定供給と下水道の充実		会計種別	水道事業会計			
	推進施策	1 安全な給水の確保		実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	水道水の水質検査						
	意図	市民の水道水質に対する安心・安全の意識の向上を図る。						
	成果	水質検査結果の信頼性の確保						
	手段	水質検査技術の向上と検査可能項目の更なる拡充を目指す。						
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込
		周南3市への水質検査結果報告回数	目標値	回	492	480	492	576
			実績値	回	492	480	492	-
			目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	
	トータルコスト		88,567	108,924	98,469	107,748	112,947	
	事業費		51,515	71,354	60,542	64,606	75,432	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		51,515	71,354	60,542	64,606	75,432	
	人件費合計		37,052	37,570	37,927	43,142	37,515	
正職員		35,515	36,030	36,350	43,142	37,515		
正職員以外		1,537	1,540	1,577	1,885	2,666		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(1,885)	(2,666)		
人員	正職員 (人)	5.00	5.00	5.00	5.75	5.00		
	正職員以外 (人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	平成4年12月「水質基準省令」が公布、「山口県水道整備基本構想」を踏まえ「山口県水道水質管理計画」が策定された。この管理計画に基づき旧徳山市では「広域水質管理整備計画」を策定して近隣各市との協議を重ね、平成6年2月に旧徳山、下松、光の3市による共同水質検査センターの設置に合意、平成6年10月1日「周南都市水道水質検査センター協議会」が設置された。							
	現状の周辺環境							
環境変化等	周南市、下松市、光市3市による協議会を維持し、水道水質検査を共同で実施している。農薬類の検査を効率化、要検討項目検査の検査項目数を拡充、水質検査における精度の維持向上に努めている。							
	今後の予想される周辺環境							
	○水質検査項目の追加 ○水質基準項目の基準値や水質管理目標設定項目・要検討項目の目標値の見直し ○分析方法等の追加、見直し等							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)		A	供給する水道水が水質基準に適合していることを確認するとともに、水質検査結果を浄水処理及び送配水、給水栓の水質管理に反映させ安定した水質を確保する。			
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)		A				
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)		A				
	有効性	4. 計画の実施状況		A	周南市水安全計画、水質検査計画に則り実施できた。			
		5. 目標 (活動指標等) の達成度		A				
		6. 上位施策への貢献度		A				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A				
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	3市の共同運営により、人的資産の有効活用と経費の節減が十分果たされているため。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A				
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A		事務事業の方向性のとおり進めていくこと。					
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)							